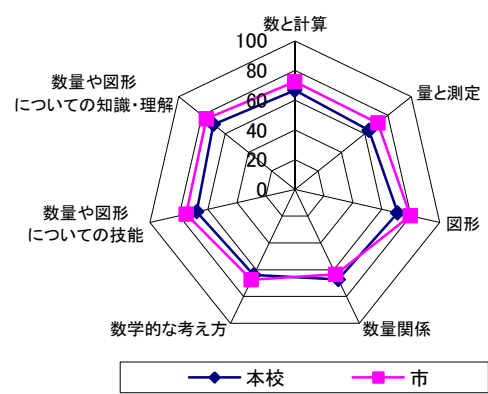


宇都宮市立上河内東小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	66.7	72.5
	量と測定	63.8	71.5
	図形	70.9	79.6
	数量関係	67.2	63.5
観点別	数学的な考え方	63.9	67.6
	数量や図形についての技能	67.7	75.1
	数量や図形についての知識・理解	70.1	76.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・平均正答率は、66.7%で、市の平均を5.8ポイント下回っている。分数の計算では、帯分数の引き算の正答率が低かった。小数の計算では、小数二位×小数第一位の計算の正答率が低かった。	・帯分数－真分数(繰り下がりがりあり)の同分母分数の計算・小数二位×小数第一位の計算については、復習の時間を設ける。習熟が不十分な場合は、個別指導を行う。
量と測定	・平均正答率は、63.8%で市の平均を7.7ポイント下回った。体積や単位量あたりの大きさ・平均の問題では、市の平均を下回った。	・体積を求める学習では、身の回りにある立方体や直方体の体積を実際に求める体験的な活動により、体量感を育て、体積の意味を理解させるようにする。また、体積の公式について復習するとともに、練習問題によって定着を図る。単位量あたりの大きさについては、問題文をよく読ませ、混みぐあいや平均の復習を行い定着を図る。
図形	・正答率70.9%と、市の平均を8.7ポイント下回った。正方形の辺どうしの垂直な関係や四角形の対角線の性質では、正答率が50%と低かった。	・図形を作図したり、切り取ったりする操作的な活動を取り入れて学習させながら、平行・垂直など図形の基礎的事項の復習をしていきたい。
数量関係	・正答率67.2%と市の平均を6.3ポイント上回った。計算のきまりや変わり方調べでは、正答率が高かった。 ・比例の関係式を作る問題はよくできていた。計算の決まりを小数へ拡張する問題も正答率が高かった。	・計算のきまりがさらに定着するように指導していきたい。